いしおか市議会だより

No.84

Ishioka City Council News -No.84-

令和４年 第２回定例会

（6月7日～6月23日）

定例会は年４回　３月　６月　９月　12月

数十年後の未来を占う、鉄路の進む道は（写真／つくばエクスプレス（ＴＸ）延伸の広報啓発ポスター・のぼり旗）

INDEX

－特集－

どうなる、市民会館後継施設
～複合文化施設建設特別委員会を設置～…… 2

定例会・臨時会ドキュメント …… 4
一般質問…… 7
常任委員会の活動…… 15

どうなる、市民会館後継施設

～複合文化施設建設特別委員会を設置～

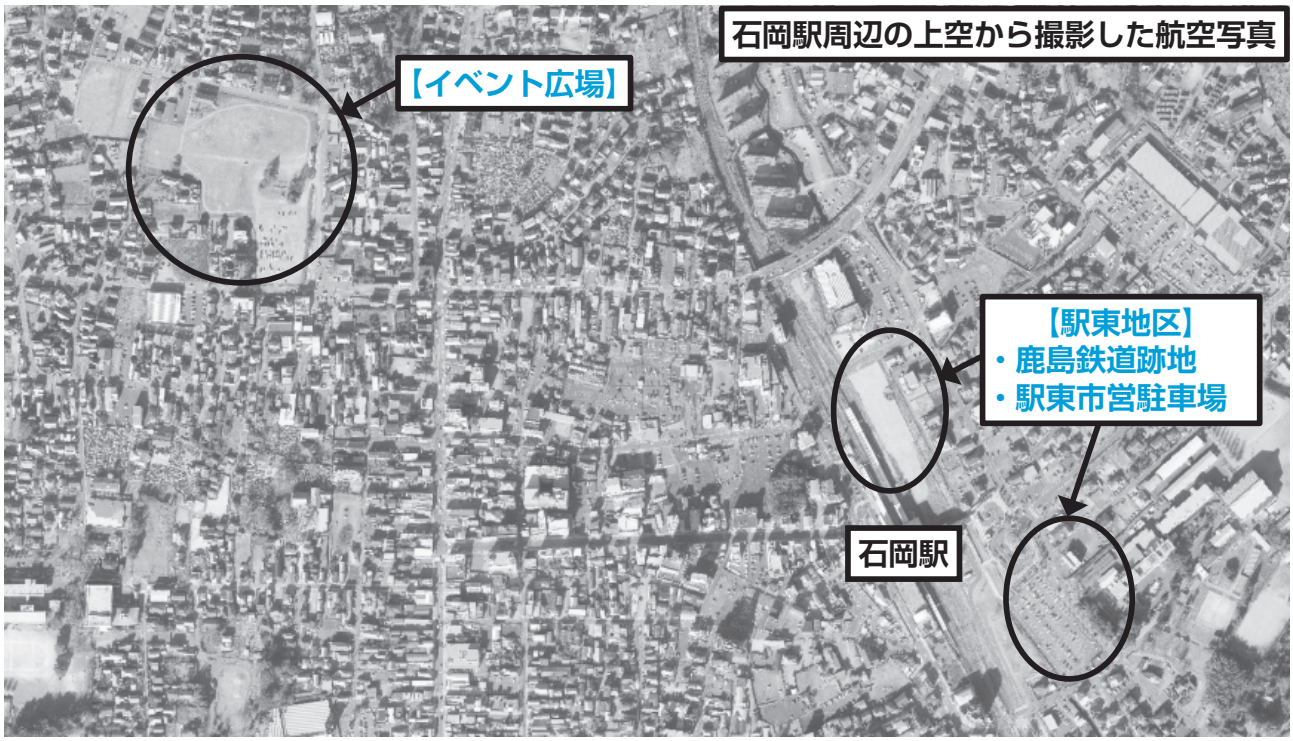
令和２年３月末の市民会館の閉館後、ホールや図書館などの機能を集約した「複合文化施設」建設の検討が市執行部によって進められていますが、閉館から２年以上経過した令和４年６月の時点で、未だ建設に向けた整備基本計画の策定に至っていません。

議会では、定例会中の一般質問や各常任委員会において、検討の進捗状況の確認や、建設地・事業手法などに関する議論が行われてきましたが、令和４年第２回定例会最終日の６月２３日、議員から「複合文化施設建設特別委員会」の設置に関する議案が提出され、賛成多数で可決。委員長に岡野孝男議員、副委員長に石橋保卓議員が選出されました。

全議員が委員となり構成する複合文化施設建設特別委員会は、現在、令和４年９月に見込まれる整備基本計画の策定に向け、集中的に審査・調査を進めています。

今回は、これまで市執行部が検討してきた内容のうち、事業を左右する大きな２つのポイントについてご紹介します。

ポイント❶　建設場所

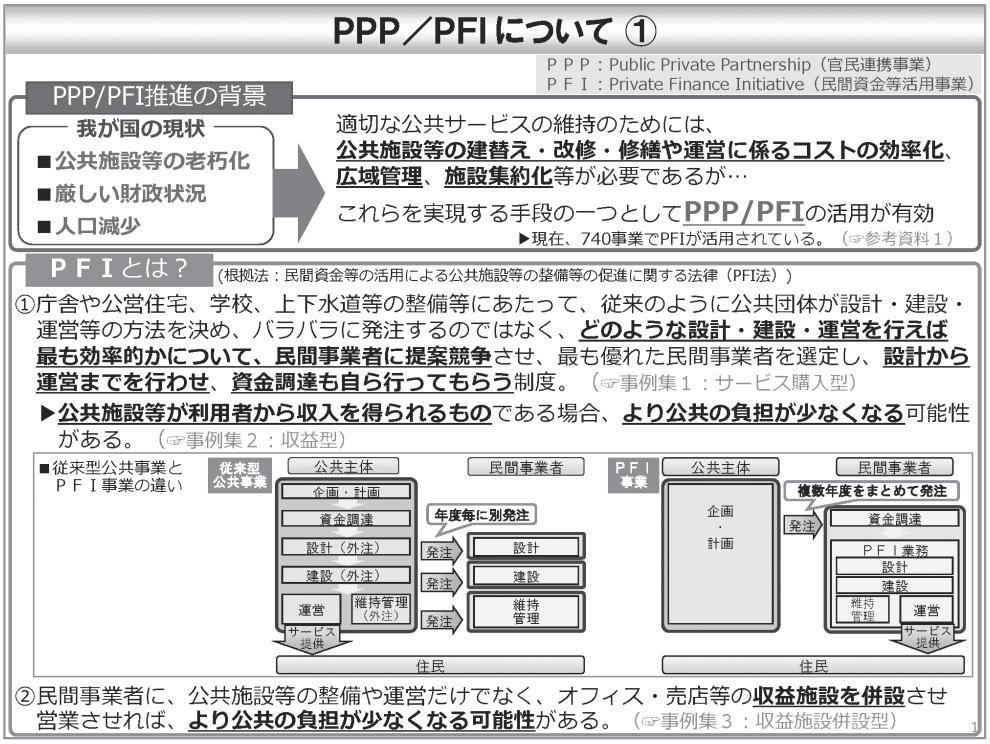


これまで建設候補地として挙げられてきたのは、「イベント広場」と「駅東地区（鹿島鉄道跡地・駅東市営駐車場）」の２か所。

７月１２日に開催した特別委員会において、市執行部から「駅東地区」へ建設する方針が示され、委員からは、各候補地の評価手法に関する疑問や、駅東地区の土壌改良の必要性に関する懸念など、さまざまな意見が出されました。

ポイント❷　事業手法

複合文化施設建設事業における設計・建設・運営などの手法について、市執行部は「ＰＦＩ手法」で進める方針を示しています。



▲ＰＰＰ／ＰＦＩの概要（内閣府資料より）

７月12日に開催した特別委員会では、市執行部から、ＰＦＩ手法導入に関する検討結果として、ＰＦＩ【ＢＴＯ】方式（民間が施設を建設し、所有権を市に移転した上で、民間が維持管理・運営を行う方式）が妥当であるとの説明があり、委員からは、ＰＦＩ手法のリスクに関する質問や意見などが出されました。

特別委員会

特定の案件や、市政において特に重要な事項を審査・調査するため、議会が必要と認めた場合に設置されるのが、特別委員会です。

当市議会では毎年度、予算・決算の審査に関して特別委員会を設置するのが例となっていますが、予算・決算以外で、市執行部が進める特定の案件に関する特別委員会が設置されるのは、平成26年度の「庁舎建設特別委員会」以来８年ぶりとなります。

市議会ホームページで、複合文化施設建設特別委員会の記録を公開しています。

委員会の記録

永年勤続表彰

このたび、３人の議員が地方自治の伸長発展と市政の向上に貢献した功績に対して贈られる永年勤続議員表彰を受賞しました。

勤続15年表彰
全国市議会議長会
茨城県市議会議長会
関口　忠男

勤続35年表彰
全国市議会議長会
茨城県市議会議長会
鈴木　行雄

正副議長勤続４年表彰
全国市議会議長会
茨城県市議会議長会
池田　正文

定例会・臨時会

ドキュメント

◆第３回臨時会
［４月２８日］
◆第２回定例会
［６月７日～６月２３日］

補正予算の主な事業と予算額

第３回臨時会	■新型コロナウイルス感染症検査促進事業	３，７７９万４千円
	■商工振興事業（中小企業等事業復活給付金など）	８，１２２万２千円
第２回定例会	■低所得子育て世帯への給付金	１億１，６３１万２千円
	■デジタル商品券発行実証事業	６，１１９万９千円
	■ＴＸ延伸推進経費	２１５万７千円
	■高齢者等支援事業（敬老事業）	７０１万９千円

第３回臨時会　条例改正やコロナ対策予算などを審議

第３回臨時会では、市長から５件の議案が提出されました。

市長が専決処分した石岡市税条例等の一部改正などの承認を求める議案３件は、いずれも地方税法等の一部改正によるもので、内容としては、住宅借入金等特別税額控除の適用期限延長や、国民健康保険税の課税限度額の引き上げなどです。

令和４年度一般会計補正予算（第１号）は、１億６５５１万円を追加し、歳入歳出総額を３５４億２５５１万円とするもので、主な内容としては、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用したコロナ対策に要する経費で構成されています。

提案理由の説明の後、条例改正の内容や補正予算の各施策についての質疑、討論を経て、採決の結果、いずれも原案のとおり可決しました。そのほか、議員から「徳増千尋議員に対する辞職勧告決議案」が提出され、賛成多数で可決しました（法的拘束力はありません）。

第２回定例会　市長提出の６議案を審議

第２回定例会では、市長から６件の議案が提出されました。

令和４年度石岡市一般会計補正予算（第２号）は、２億４５７万３０００円を追加し、歳入歳出総額を３５６億３００８万３０００円とするもので、低所得の子育て世帯に対し10万円（国財源５万円＋市独自上乗せ５万円）を給付する経費などで構成されています。

令和４年度石岡市一般会計補正予算（第３号）は、２億５９７４万５０００円を追加し、歳入歳出総額を３５８億８９８２万８０００円とするもので、つくばエクスプレスの延伸に向け、市民の機運を醸成するため、協議会の負担金や啓発活動に要する経費などで構成されています。

今回市長から提出された議案は、採決の結果、いずれも原案のとおり可決しました。

複合文化施設建設特別委員会の設置

定例会最終日に、岡野孝男議員（ほか賛成者６名）から、議員提出議案「複合文化施設建設特別委員会の設置について」が提出され、討論、採決の結果、原案のとおり可決し、同特別委員会が設置されました。

令和４年第２回定例会の流れ

- 6/7 本会議 開会：請願の採決、市長による議案提案理由説明、議案の採決
- 6/13-15 本会議 一般質問：市政全般に関する一般質問（14名）
- 6/16 本会議 議案質疑：議案に対する質疑（3名）
- 6/17, 20, 21 常任委員会：議案、請願の審査、所管事務の調査
- 6/22 議会運営委員会：次回定例会の日程などの協議
- 6/23 本会議 閉会：市長提出議案の採決、議員による議案の提出・採決

質疑から読み解く ギカイの視点

第２回定例会

補正予算 つくばエクスプレス（ＴＸ）の石岡への延伸に向けて

ＴＸ延伸推進経費２１５万７千円を計上

茨城県が、つくばエクスプレス（ＴＸ）の延伸ルートを４方面（筑波山・土浦・茨城空港・水戸）から１つにしぼるための調査費を令和４年度予算に計上したことを受け、各方面に関係する自治体の動きが活発になっています。

今回の補正予算では、広報啓発を目的としたポスターコンクールの実施に係る経費のほか、茨城空港経由で水戸への延伸を目指す「ＴＸ水戸・茨城空港延伸促進協議会」負担金２０万円、石岡市経由で茨城空港への延伸を目指す「ＴＸ石岡延伸推進協議会」負担金１８２万４千円が計上されています。

各協議会では、行政や関係団体が一体となって延伸推進に向け取り組んでいます。

問 石岡を通って茨城空港、その後水戸に延伸する場合、ばく大なお金がかかると思うが、総事業費の見込みは？

答 参考として、これまでのつくばエクスプレスの建設事業では、１キロメートル当たり138億６千万円かかっている。つくば駅と茨城空港間は直線距離で約30キロメートルで、単純計算した場合4,200億円となる。

問 協議会の今年度の具体的な活動予定は？

答 市主催・協議会を通じた啓発活動、署名活動、茨城県への要望活動を進める予定。今後協議会において具体的に検討する。

第２回定例会

補正予算 プレミアム付デジタル商品券を発行

マイナンバーカード＆スマホで購入

マイナンバーカード所有者がスマホアプリを介してデジタル商品券（最大5,000円に40％のプレミアムを上乗せした7,000円分）を購入、市内に限り利用できるようにすることで地域経済の活性化を図る。本事業に併せ、事業者が統一ＱＲコード決済を導入する経費への補助も実施。

問 デジタル商品券、マイナンバーカード、統一ＱＲコードの３つの取組を連携させて進めるとのことだが、他自治体で同様の取組を進めている動きはあるのか？

答 マイナンバーカードによる個人認証を経由したデジタル商品券発行事業と統一ＱＲコード決済導入促進奨励金を組み合わせた当事業は、全国初と考えている。

第３回臨時会

補正予算 薬局で無料ＰＣＲ検査などを実施

県の事業終了を受け、市が独自で

令和３年末から県の事業として始まった薬局での無料ＰＣＲ検査などが終了予定であることを受け、市独自で薬局等での検査を令和５年３月末まで継続するほか、薬局等へ行くのが難しい市民に抗原検査キットを郵送する事業として3,779万４千円を計上（※補正予算審議時、県の事業は６月末で終了予定だったが、その後８月末まで延長された）。

問 ＰＣＲ検査委託料3,366万円の積算根拠は？

答 ＰＣＲ検査委託が1,800人分、抗原検査委託が2,160人分で、合計3,366万円を計上している。

第２回定例会

請願陳情　霞ヶ浦（那珂川）導水路早期実現に関する請願

第１回定例会最終日に産業建設委員会へ付託され、議会閉会中に継続審査していた請願について、第２回定例会開会日に採決を行いました。

請願趣旨　霞ヶ浦（那珂川）導水路について、一向に解決が見られない状況にあり、石岡地区の農業・山林を守るため、早急な行動を求める

委員会の意見　「霞ヶ浦の環境を守るということでよいのではないか」、「環境を守る、水質を浄化しようという思いは、請願者ばかりではなく、市民、議会の共通の思いであり、ぜひ石岡市環境基本計画にいずれ機会を捉えて組み入れていただきたい」などの意見が出されました。

審査結果　採択

第２回定例会

補正予算　敬老会事業の見直し

高齢者全員に記念品等を配布

今年度当初、市が節目の記念品を対象者に直接郵送し、敬老会を開催する地区に対しては市から地区に補助金を交付するとしていた敬老会事業を見直すもの。敬老会開催への補助金交付を中止し、節目の記念品に加え、それ以外の高齢者にも 1,000 円分のプラチナ応援券を郵送する。

問　全員に郵送配布することについて、郵送料ももったいないと感じるし、ばらまきではないかと思うが、市の認識を伺う。

答　市として公平性を確保したいこと、新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぐ考えから、今年度は対象者全員への郵送配付とした。次年度は実行委員会とも協議を図り、併せて市の財政負担等も協議しながらよりよい方向性を検討していきたい。

議案の審議結果

■全会一致で可決・採択

第３回臨時会	
予算	令和４年度石岡市一般会計補正予算（第１号）
条例	専決処分の承認（石岡市都市計画税条例の一部改正）
その他	損害賠償額の決定及び損害賠償請求に関する和解（八郷総合運動公園における物損事故に係るもの）

第２回定例会	
予算	令和４年度石岡市一般会計補正予算（第２号）
	令和４年度石岡市一般会計補正予算（第３号）
	令和４年度石岡市介護サービス事業特別会計補正予算（第１号）
	令和４年度石岡市一般会計補正予算（第４号）
その他	損害賠償額の決定及び損害賠償請求に関する和解（茨城県青少年の健全育成等に関する条例違反事件により提訴された損害賠償請求に係るもの）
請願	霞ヶ浦（那珂川）導水路早期実現に関する請願（紹介議員：関口忠男）

■賛否が分かれたもの（賛成多数で可決）

※「○」は賛成、「●」は反対、「－」は退席等
※議長は、採決に加わりません。

	案件名＼議員名	鈴木康仁	飯村一夫	新田茜	川井幸一	櫻井茂	石橋保卓	岡野孝雄	玉造由美	勝村孝行	谷田川泰	小松豊正	山本進	村上泰道	関口忠男	池田正文	岡野孝男	徳増千尋	髙野要	鈴木行雄
第３回臨時会	専決処分の承認（石岡市税条例等の一部改正）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○
	専決処分の承認（石岡市国民健康保険税条例の一部改正）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○
	徳増千尋議員に対する辞職勧告決議	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	－	●	●
第２回定例会	工事委託契約の締結（令和４年度市道Ｂ３７６０号線道路整備事業）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○
	複合文化施設建設特別委員会の設置	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○

≪会議の欠席状況≫　なし

市政を問う！

一般質問

［6月13日～6月15日］

各議員が、市の行う事業の内容を問いただしたり、政策提案をしたりする一般質問。
議員と市執行部との真剣勝負が繰り広げられます。

質問者	質問項目	頁
櫻井　茂	複合文化施設	8
	少子化対策	
岡野　孝男	家畜伝染病予防	
	土砂等による土地の埋立て等	
飯村　一夫	石岡市の健康診断	9
	石岡市の救急搬送体制	
石橋　保卓	公正かつ効率的な事務事業の進め方	
谷田川　泰	石岡駅周辺整備事業の進捗状況	10
	駅前・東ノ辻線の早期完成に向けた取組	
	複合文化施設	
新田　茜	石岡市における婦人科がん検診状況と検診受診率向上の取組	
	石岡市の子育て支援策	
	柏原野球公園テニスコートの整備	
髙野　要	石岡地域医療計画	11
	職員をパワハラから守る方策	
	水稲に係る病害虫の防除への補助金創設	
	市道沿線の除草及び街路樹の管理	

質問者	質問項目	頁
玉造　由美	男子用トイレへのサニタリーボックス設置	11
	投票率アップに向け、有権者が投票しやすい投票環境の整備	
関口　忠男	いばらきフラワーパークの渋滞	12
	産業戦略部への名称変更	
	観光協会法人化	
鈴木　康仁	グリーンスローモビリティ実証調査事業及び導入	
	街路灯整備	
	青少年のスポーツ育成及び支援	
村上　泰道	教員の働き方改革に向けた実践モデル校指定に伴う検証	13
	小学校・中学校費における学校管理運営経費及び学校維持管理経費の予算化の流れ	
小松　豊正	「複合文化施設」建設の基本問題	
	物価高騰に対する学校給食の対応	
	乗合いタクシーの土日祝日運行の実施	
川井　幸一	石岡市の人口減少について、現状をどのように捉え、どのような対策を講じていくのか	14
山本　進	石岡市の文化行政とその役割	

※各記事に掲載されている二次元コードから、質問者ごとの録画映像をご覧いただけます。

紙面の都合上、■で色付けした項目のみ掲載しています。
※スマホなどで、各議員のページに掲載している二次元コードから、すべての質問の録画映像をご覧いただけます。

櫻井　茂（さくらい　しげる）

複合文化施設 公平な候補地の選定を

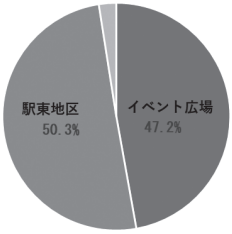
動　画

問　市民会館及び図書館の機能を中心とした複合文化施設の計画が進んでいますが、建設に要する概算費用とその算出根拠について伺います。

　特に、建設地の決定については、様々な意見を出し合いながら比較検討をしていく必要があると考えます。建物の規模や面積、建設に伴う費用などが分からなければ、検討すらできません。また、スケジュールに関しても、イベント広場の場合に必要な発掘調査期間を想定しておらず、公平な比較ができるかも危ぶまれる状況です。メリット・デメリットを含め、より詳細な情報を明らかにし、それぞれの候補地について公平に検討をしていくべきであると考えます。今後の建設地の選定について、市の見解を伺います。

答　概算事業費の算出については、国内同様施設の主な先行例から平均単価として平米当たり70万円を設定しており、想定の1万2002平米に平米単価70万円を掛けると84億140万円となります。さらに、駐車場などの周辺整備に係る経費を加えると、正確な数字ではありませんが、100億円を超えることが想定されます。

　候補地選定の最終段階として、これまでに比較検討してきた内容に加え、5月に実施した市民アンケートで市民の皆様に理解を深めてもらうとともに、この集計結果を参考に最終案をまとめ、庁議において検討結果を報告し、承認の後、できるだけ早い時期に議会へ報告します。市民説明会、パブリックコメントを経て、9月を目途に建設地を含めた基本計画を確定したいと考えます。



市民アンケート

▲市執行部が行った市民アンケートの結果では、イベント広場と駅東地区が拮抗している

岡野　孝男（おかの　たかお）

豚熱発生を受けて、市としての予防対策や今後の取組を問う

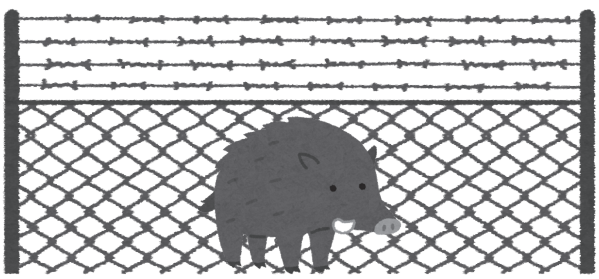
動　画

問　4月13日に石岡市内で豚熱が発生し、951頭が殺処分され、養豚農家は経済的にも精神的にも、ダメージは想像を絶するものがあろうかと思います。そもそもの発生源は、有害鳥獣、特にイノシシに起因するところが大きいと思われます。その中で、有害鳥獣捕獲の徹底及び豚熱の予防について、市はどのような対策をしているのか伺います。

　捕獲期間がそれぞれの市によってばらばらだと、捕獲していない市にイノシシが集まり、豚熱が発生する可能性が高まります。一体とした捕獲作戦を取っていただかないと、やはり養豚農家としては不安だという声があります。そこで、豚熱防止のための今後の取組について伺います。

答　石岡市内の養豚農場での豚熱発生を踏まえ、鳥獣被害対策実施隊の捕獲活動を昨年度より前倒しして、有害鳥獣の捕獲に努めています。豚熱の予防対策については、飼養している豚へのワクチンの接種のほか、養豚農場の衛生管理を徹底するとともに、野生動物侵入防止の防護柵や防鳥ネットの設置を実施しています。また、有害鳥獣の捕獲強化や経口ワクチンの散布など、野生イノシシ対策を実施しているところです。

　捕獲期間においては、近隣市町村とできるだけ合わせるよう調整をしていきたいと考えているところです。今後も県や国の関係機関と綿密な連携を図り、適切な衛生管理と豚舎への病原体侵入防止対策のさらなる徹底をお願いしていきたいと思います。



※各記事に掲載されている二次元コードから、質問者ごとの録画映像をご覧いただけます。

いいむら　かずお
飯村　一夫

受診率向上のため、個別で受けられる検診をもっと増やすべき

動　画

問　持続可能な医療体制の確立に向けて、医療費の削減が課題となっています。そのためには病気の早期発見・早期治療が重要です。当市では健康診査やがん検診を実施していますが、現状どのようになっているのか伺います。一部のがん検診を除き、集団健診でしか受けられないものがありますが、受診率向上に向けて、これらを医療機関でも個別に受けられるようにするべきではないでしょうか。

　また、石岡商工会議所、八郷商工会においても定期健康診断が行われています。各商工会は、会員向けに受診費用の助成をしており、受診者数は年々増えています。市と商工会が連携して、地域の方の健診受診率を上げていくことが重要だと思いますが、今後の対応について伺います。

答　当市では、75歳以上の方に実施している後期高齢者健康診査、当市の国民健康保険に加入している40歳から74歳の方に実施している特定健康診査、39歳以下の方に実施している健康診査のほか、8種のがん検診を実施しています。近年は、感染症の影響で市民の方の健診控えがあったと考えていま す。医療機関との調整の問題もあり、現在、個別での検診を行っているのは、一部の婦人科がん検診のみになっています。市としても、地区健診の周知に努めるなど、もっと多くの方に受診してもらえるような取組を進めていきます。

　また、これまで産業戦略部では、商工会が行う事業に対して商工会事業費補助金として補助を行ってきました。今後も商工会法に基づいて、補助を行っていきます。

検診種別	集団	医療機関
肺がん	○	
胃がん	○	
胃がんリスク	○	
大腸がん	○	
前立腺がん	○	
口腔がん	○	
子宮頸がん	○	○
乳がん	○	○

▲がん検診が受診できる会場等の状況。医療機関で個別受診できる項目は限られている

いしばし　やすたか
石橋　保卓

戦略と共通認識を持って事業を進めるべき

動　画

問　様々な事務事業において、その事業の完成後、あるいは進行途中に、かなり高い頻度で手直しや計画変更が行われてきました。このような進め方を見てきて、私は行政に対する強い不信感と、将来への強い不安感を覚えています。なぜもう少しスムーズに事業を進めることができないのでしょうか。

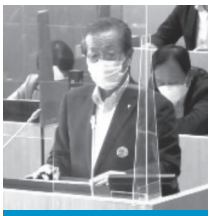
　複合文化施設建設事業をはじめとするこれからの事業を公正かつ効率的に進めるためには、行政側としての戦略・目標をしっかり持つことが必要です。こういったことをきちんと市民の皆さんに説明し、自信と責任を持って政策を決定・実現していくことが今一番求められていることです。

　また、共通認識をもって事業を進めるために、市長は自分の考えをもっと職員に理解してもらえるように努力すべきではないでしょうか。

答　各事業の進捗管理に対して、報告・連絡・相談を意識し、優先順位をつけてスケジュール管理を行い、早め早めに準備をしていくよう指示してきました。関係者との調整や、政策の背景や必要性など、時間をかけて理解を得ていく必要のある事柄については、その準備期間を踏まえた事業計画になっていることも重要であり、無理な進め方になっていないか、必要な準備や手続が取れているか点検を行っています。市民の皆さんにも、誠意をもって市政運営を説明していきたいと思います。

　これからは、これまでの事業内容を見直し廃止するなどの調整も必要であり、マネジメントのウエイトも大きくなってきます。持続可能な行政運営のために、しっかりと成果へと結びつけられるよう取り組んでいきます。

※各記事に掲載されている二次元コードから、質問者ごとの録画映像をご覧いただけます。



谷田川（やたがわ） 泰（やすし）

石岡駅周辺の整備で、魅力ある石岡へ

動画

問 石岡駅周辺整備事業について、私はこれまでも一貫して早期完成を要求してきました。当市のまちづくりの方向性であるコンパクトシティ・プラス・ネットワーク形成に向け、最も効果が期待できる事業であると認識しています。また、石岡の顔ともいえる駅前を整備することで、そこから伸びる中心市街地に活気を取り戻し、さらには人口減少への対策や魅力ある郷土の形成へとつながる最大のプロジェクトであると考えます。そこで、現在も整備が進められている石岡駅周辺整備事業の進捗状況を伺います。

さらに、以前より指摘をしている西口のロータリーの安全性確保、整備事業の案内看板設置についての対応状況を伺います。

答 西口交流施設、石岡駅東口都市公園、ステーションパーク立体駐車場の各整備については、おおむね当初の予定どおり整備工事を進めている状況です。BRT専用駅前広場の整備は、新型コロナウイルスの影響から資材の納入に相当期間を要し、令和3年度内の完了ができず、令和4年6月末に完了、7月9日に供用開始予定です。

ご指摘の西口ロータリーの改修については、銅像の移設に併せ、郵便局側からの進入路に右折レーンを設置し、車両の流れを分け、スムーズな車両通行を図ります。また、駅前交番前のカーブを緩くする対策を行った上で、完成したロータリーの通行状況を確認していきます。案内看板の設置については、東西自由通路等のポスター掲示板を利用し、事業内容を駅利用者などに広く周知していく予定です。

▲7月9日に供用開始された石岡駅バスターミナル

新田（にった） 茜（あかね）

個別通知で婦人科がん検診の受診勧奨を

動画

問 生涯でがんのために亡くなる人の割合は、男性が4人に1人、女性が6人に1人と言われています。特に乳がん、子宮がんについては、罹患数が多く、女性であれば誰もがかかり得るとても身近な病気です。その中で、子宮がんは、早期に発見ができれば適切な治療で治ると言われており、検診が果たす役割は非常に大きいと思います。

また、乳がんにかかりやすい年代は40代後半、子宮頸がんは30代後半と言われています。そのため、この年代の対象者へ検診受診を勧奨する取組が重要だと考えます。水戸市ではこれらの方へ受診勧奨の通知を送り、受診率が2倍になったという話もあります。そこで、石岡市の現状と検診受診率向上のための取組について伺います。

答 石岡市の婦人科がん検診は、集団検診と医療機関検診で実施しています。集団検診は土曜日に実施している回もあります。また、医療機関検診について、子宮がん検診は104の医療機関、乳がん検診は37の医療機関で検診が可能です。令和3年度は、子宮がん検診の受診率が11・2%、乳がん検診の受診率は11・1%でした。

受診率向上のための取組として、平成24年度から、子宮がんは20歳、乳がんは40歳の女性に無料クーポンを発行し、受診を勧奨する事業を行っています。

また、令和3年度から医療機関検診の受診券の発行方法が改善され、窓口に申請に来なくても電話や電子申請で発行が可能となりました。来年度は対象者を選定して、医療機関受診券の個別通知を行っていきたいと考えています。

※各記事に掲載されている二次元コードから、質問者ごとの録画映像をご覧いただけます。

たかの　かなめ
髙野　要

市長の公立病院についての総括、市民への説明は

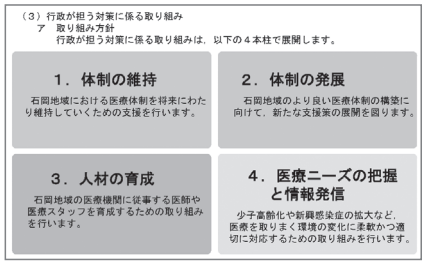
動　画

問　今年4月に改定された石岡地域医療計画では、病院の再編統合などが書かれていた第5章が削除されました。また、第4章の中に、基本理念の実現のために必要な医療対策として13項目の対策が書かれていますが、その一番初めに「医療資源の集約化や医師を呼び込める医療機関（中核病院等）の整備」と書かれています。最初の医療計画のときは、医療機関、中核病院の整備というのは公立病院のことを指していたかと思いますが、今回改定した計画にも引き続き掲載されているため、市長は公立病院を諦めていないのかもしれないと私は思うわけです。医師会病院がなくなり、民間の病院に移った今、当市でどのようにしたら公立病院ができるのか伺います。

　市長が選挙において大きな公約を掲げ、とん挫したわけですので、市民との約束に対する市長のけじめについて伺います。

答　市長の選挙公約については、地域に必要な医療体制を整備する上で、病床確保の必要性のほか、公立病院整備等については有効な手段の1つとして訴えてきたところです。その後、残念ながら、病院の再編統合の公立化は提案が撤回され、実現不可能となりました。再編統合という医療計画でなければ、公的病院は難しいと考えているところです。

　今後も地域に必要な医療体制の整備のために、公立・民間にこだわらず、課題を個別に解決していくことを基本に必要な対策を検討するとともに、行政としてできる対応をしっかり考えていきたいと思います。


（3）行政が担う対策に係る取り組み
ア　取り組み方針
行政が担う対策に係る取り組みは，以下の４本柱で展開します。

1．体制の維持
石岡地域における医療体制を将来にわたり維持していくための支援を行います。

2．体制の発展
石岡地域のより良い医療体制の構築に向けて，新たな支援策の展開を図ります。

3．人材の育成
石岡地域の医療機関に従事する医師や医療スタッフを育成するための取り組みを行います。

4．医療ニーズの把握と情報発信
少子高齢化や新興感染症の拡大など，医療を取りまく環境の変化に柔軟かつ適切に対応するための取り組みを行います。

地域医療計画

▲改定後の計画は、市ホームページで閲覧できる

たまづくり　よしみ
玉造　由美

男子用トイレへのサニタリーボックス設置の推進を

動　画

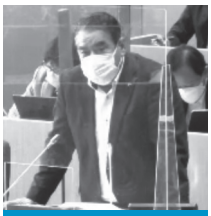
問　近年、高齢化社会などの様々な要因から、尿漏れパッドを使用されている方が増えてきているようです。使用している方が安心して外出できるよう、また、社会復帰支援のためにも、庁舎などの公共施設や学校などの男子用トイレの個室にサニタリーボックスを設置することは大変重要なことと考えます。また、男子用トイレの個室のドアのところに「サニタリーボックスがあります」というような表示をして、利用される方がそれを一目で見て安心して利用できるよう配慮していただきたいと思います。さらに、市内の大型ショッピング施設など、商工業事業主の方にも設置について検討していただき、石岡市全域で取り組んでいけるよう声かけをお願いしたいと思いますが、見解を伺います。

答　前立腺がんや膀胱がんなどの疾病により、尿漏れパッド等を使用している方が来庁時に安心してご利用いただけるよう、細やかな配慮として、また、衛生面の観点からも、まずは本庁舎において、各階にある男性用トイレと屋外トイレのそれぞれ1か所の個室、計8室にサニタリーボックスを設置したいと考えます。なお、サニタリーボックスの設置に当たっては、必要とする方に分かりやすいような表示を心がけていきます。

　また、男性が利用できるサニタリーボックスを設置することにより、公共施設などを利用する市民の方が外出先でも困らずに行動できることが期待されます。施設の状況を踏まえ、必要な箇所について設置に向けて取り組んでいきます。

▲定例会後の６月下旬、市役所本庁舎の男性用トイレにサニタリーボックスが設置された

※各記事に掲載されている二次元コードから、質問者ごとの録画映像をご覧いただけます。



せきぐち　ただお
関口　忠男

石岡市観光協会の法人化を迅速に進めてほしい

動　画

問　石岡市観光協会を法人化する動きについて、昨年度の予算には、観光協会法人化調査委託料が計上されていましたが、どのような調査を行ったのか伺います。

　観光協会の法人化については、数年前から観光協会の中で協議、検討されてきましたが、そのたびに色々な不都合が出てきて、進捗が遅れてきたと聞いています。隣接しているつくば市、土浦市、笠間市、小美玉市では10年以上前に法人化されているのに、どうして石岡市は法人化してこなかったのでしょうか。今後は迅速に、スケジュールのとおりに設立できるよう努力してもらいたいと考えます。また、市長は、この事業を行うことによってどのようなメリットを考えているのか伺います。

答　石岡市にふさわしい観光協会の在り方の方向性を示すため、観光協会を法人化している事例等の調査を行い、法人化に際しての留意点、法人化することで今後可能となる事業等を整理しました。組織形態としては、一般社団法人と株式会社が候補となっています。今後は、令和6年4月の法人設立を目指し、観光協会内に法人設立準備会を組織して、協会会員の合意形成を図りながら事業計画等を策定していく予定です。

　法人化することで幅広い活動が可能となり、観光におけるおもてなし力が向上し、交流人口の増加につながるなど、石岡市に大きなメリットがあると考えています。今後も、観光協会と協働、連携の下で観光振興を進めていきます。

▲令和6年4月の法人化を目指す（画像は観光協会ホームページより）

すずき　やすひと
鈴木　康仁

グリーンスローモビリティの早期導入に向けた今後の予定は

動　画

問　グリーンスローモビリティは、移動制限者の外出の機会の創出や地域活性化のためにも早期の導入が望まれるところです。昨年度、南台地区で中型の電気バスを使った実証実験を行いましたが、かなり好評を得ていたと思います。そこで、今後はどのような実証実験を考えているのか、また、本格導入までのスケジュールについて伺います。

　他市町村では、地元の企業からドライバーを1日単位で派遣していただいて、その代わりに企業名をカートにつけるなど、民間企業と協力して事業を行っているところもあります。グリーンスローモビリティを導入する上での財政面の負担を軽減するためにも、こういった民間企業との協力について考える必要があるのではないでしょうか。

答　今年度は9月下旬から12月にかけて、8人乗りのバス型の電気自動車を使用し、石岡駅や商業施設、公共施設を周回する3ルートでの実証運行を予定しています。設置されたバス停を定時刻に経由する形で、ルート上での自由乗降は、交通量や安全の確保に留意し、試験走行を行った上で決定していきます。本格導入向けて、実証実験の結果を精査し、来年度以降のスケジュールも検討していきます。

　また、グリーンスローモビリティ事業の本格導入を考える上で、事業効果や費用対効果が課題になります。今後は、ボランティアの参画も視野に入れ、協力いただいた企業の名前を車両やホームページに掲示するなど、民間と連携して事業展開をしていきたいと思います。

ルート種別	運行日数	利用者数	1日当たり利用者数
南台ルート	9日間	386人	42.9人
ばらき台ルート	9日間	635人	70.5人
合計	18日間	1,021人	56.7人

▲令和3年11月10日～11月28日の間に行われたグリーンスローモビリティ実証調査事業の実績

※各記事に掲載されている二次元コードから、質問者ごとの録画映像をご覧いただけます。

むらかみ　やすみち
村上　泰道

子どもたちの教育環境充実のため、積極的な学校環境の改善を

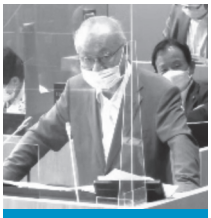
動　画

問　石岡の将来を担う大切な人材であり財産である子どもたちが通う学校の環境整備に係る経費について、予算化の流れと令和４年度の予算化の実績を伺います。

　施設整備修繕費については、毎年のように増額を求める要望が上がっている中で、予算化の対応も限定的になっていると認識しています。先生方の働き方改革も含め、業務環境の改善に係る要望を実現していくことは、子どもたちの教育環境の充実に不可欠であると考えますので、ぜひ前向きに検討いただきたいと思います。石岡で教育を受けさせたい、子育てをしたいと思える環境を整えるための費用であれば、無駄なものではないと考えます。小中学校の環境整備に向けて、今後どういった方針でどのように取り組むのか、見解を伺います。

答　予算については、校長会が中心となり取りまとめた要望をもとに、各種計画との整合、過年度の実績、各学校の状況を踏まえて要求をするという流れになります。令和４年度は、公務のオンライン化、ＷｉＦｉ環境の強化について予算化が実現しています。修繕費については、緊急性が高いもの、安全に関わるものを優先し進めていますが、改修時期と老朽化が重なり、対応が追い付いていない状況にあります。

　ご指摘のとおり、石岡の未来を作るのは教育であると考えます。学校との連携を図り、共通認識の下、一つ一つ丁寧に対応しながら、必要な予算の確保に努め、安全で快適に学べる学校施設の整備・充実、学校教育の質の向上を図っていきたいと思います。



こまつ　とよまさ
小松　豊正

複合文化施設建設予定地のそれぞれの課題

動　画

問　複合文化施設の建設予定地として、イベント広場と駅東地区が挙げられています。イベント広場とした場合に、追加で発掘調査が必要になるのか、その見通しについて伺います。イベント広場の土地を購入した当時、相当なお金と労力をかけて「図書館を核とした複合施設」計画が作成されましたが、これを生かすことができるのではないでしょうか。

　駅東地区に関しては、市民から、あの広さではとても無理ではないかという心配の声を聞きます。床面積は足りるのか、どのような構造を予定しているのか伺います。

　また、片一方の土地に詰め込むのではなく、両方の土地にそれぞれの利点にあった施設を建設することで、よりよい石岡のまちづくりにつながると思いますが、その考えがあるのか伺います。

答　イベント広場については、県と協議して発掘調査の範囲を確定しますが、工事の影響がある範囲全てに調査が行われると考えています。また、過去の計画案については、すでに10年以上経過しており、当時の設計とは計画が異なるため、そのまま生かすことは難しいと考えます。

　駅東地区は、鹿島鉄道跡地と駅東駐車場の２つの敷地を活用することで、面積を確保できると考えています。建物本体が３階建て、駐車場は３階から４階の立体駐車場を想定しています。

　候補地の両方に施設を分けて建設することについては、石岡市公共施設等総合管理計画の基本方針により、構想段階から複合化を優先して検討しており、コストの面からも２施設の建設は困難だと思われます。

▲（上）イベント広場
（中・下）駅東地区

※各記事に掲載されている二次元コードから、質問者ごとの録画映像をご覧いただけます。

かわい　こういち
川井　幸一

人口減少対策 危機感を持ち、市独自の際立った施策を

動　画

問　石岡市の人口は減少の一途をたどっている中、今年３月の人口減が近隣市町村の中でも群を抜いているという結果が発表され、愕然としました。本年の市長の施政方針で示されたリーディングプロジェクトの中には、人口減少に対する具体的な対策は示されず、危機感を持っているのか疑問に感じます。

　人口減少を食い止めるには、人口増に成功している先進自治体を参考に、共働き子育て世代にターゲットを絞り、子どもを産み育てるための住みやすい環境を整え、戦略的に人口減少対策を行う必要があると考えます。その上で、石岡市独自の本当に際立った施策を実施しなければ、この問題は解決しないと考えます。そこで、将来を見据えどのような施策を行っていくのか、考えを伺います。

答　第２期のまち・ひと・しごと創生石岡市総合戦略の中で、４つの基本目標、14の施策、37の取組を行っており、特に20代から40代の結婚、出産、子育てを行う世代が安心し住みたくなるまちづくりや、重層的なコミュニティーづくりの支援、関係人口の増加を重点的に施策の展開をしています。また、令和６年度までに累計移住者数５００人を目指すなど、具体的な数値目標を設定し、取り組んでいきます。

　本市の人口減少を極めて重要な課題と捉え、石岡市が持続可能なまちであるよう、あらゆる選択肢を踏まえ、必要な対策を講じていきたいと考えています。人口の奪い合いではなく、自治体がお互いの個性や魅力を出し合いながら、広域的に共に歩んでいける未来を目指していきます。

市町村	人口増減（単位：人）
石岡市	－２２０
土浦市	－７９
笠間市	－１２３
つくば市	＋３８８
かすみがうら市	－５２
桜川市	－９４
小美玉市	－１１０

▲令和４年３月（１か月間）における近隣市町村の人口増減（茨城県資料より作成）

やまもと　すすむ
山本　進

ふるさと歴史館 旧城南中への機能移転の検討状況は

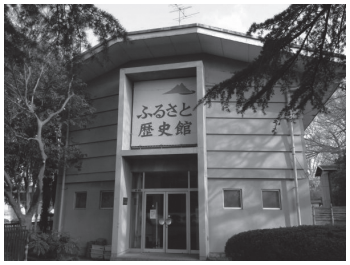
動　画

問　特別史跡などを紹介する企画展の会場として使用されているふるさと歴史館は、老朽化と狭い展示スペースという課題を抱えています。令和２年３月定例会の一般質問の際に、ふるさと歴史館の今後の在り方として、改めて城南中学校跡地に機能移転できないかと伺ったところ、機能移転の検討に当たり、関係する計画や市民ニーズと調整を図りながら進めていきたいという答弁を受け、間もなく２年が経ちます。その後、機能移転や再配置の検討がどのように進捗したのか伺います。

　次に、文化財の散逸や滅失を避けながら、保存と活用を適正に進めていくためには、文化財の保存会や市民団体、教育、研究機関との連携が必要不可欠と考えますが、見解を伺います。

答　ふるさと歴史館は、老朽化や展示スペースの狭小により新たな展示会ができず、常設展と企画展を実施している現状では、増築や建替え等が困難な状況となっています。また、市民や来訪者から、展示の充実を求める意見等をいただいている状況と認識しています。旧城南中学校については、機能移転の候補地の１つとなっており、現時点でまだ最終決定には至っていませんが、有力な候補地の１つとして検討を進めているところであり、今年度中には方向性を決定していきたいと思います。

　市内に存在する文化財は量も非常に多く、性質や時代背景が異なるなど多種多様で、職員だけでは行き届かない点もあります。各文化財の保存団体、市民の皆様や研究者、専門家のお力添えをいただきながら、文化財の保護、保存及び周知活用を図っていきたいと考えます。



▲老朽化が進んでいるふるさと歴史館

※各記事に掲載されている二次元コードから、質問者ごとの録画映像をご覧いただけます。

常任委員会の活動

石岡市議会には３つの常任委員会が置かれており、各委員会は、担当する部門に関する市の業務内容の調査や、議案と請願・陳情の審査などを行っています。委員会は議会の閉会中も開催しており、積極的な議論が交わされています。

ここでは、最近の委員会において議論された主な内容をご紹介します。

総務企画委員会

戦略的情報発信

６月 20 日の委員会において、執行部から、今年度の戦略的情報発信に関して説明を受けました。「❶市ホームページが利用者の使い勝手の面などで不足する部分が目立ってきたため、全面的にリニューアルを実施し、誰もが使いやすい機能性、デザイン性への改修、検索機能の強化を目指す」「❷市公式ＬＩＮＥの９月中の運用開始に向け、市ホームページと連携して、必要な情報に素早くアクセスできる機能や、利用者が選択式で目的の情報にたどり着ける機能などの導入を予定」との説明に対し、委員からは、情報発信ツールのみを紹介するチラシがあってもいいのではといった意見や、独自性をもった利用しやすいリニューアルを望むといった意見が出され、執行部からは、利用者の方が欲しいと思う情報に素早くたどり着けることを第一のコンセプトに、全庁的な会議、打合せ等の中で検討していきたいとの答弁がありました。

▲ 市ホームページの全面的リニューアルを実施予定

文教厚生委員会

第１保育所園庭の現地調査

第１保育所において、児童が安心して遊べる環境を確保するために令和３年度から工事が進められていた園庭が本年５月に完成し、５月 19 日の委員会で現地調査を行いました。

これまで第１保育所の児童たちは、外遊びの際、100 メートル以上離れた旧第１保育所の園庭まで歩いていく必要がありましたが、今回、保育室のすぐ目の前に整備された園庭には、砂場や、市内からの寄附などにより整備された遊具等が設置されており、楽しそうに遊ぶ子どもたちの笑顔が見られました。

現地調査終了後の委員会では、委員から、将来的に石岡小学校と他校との統合が計画されている中で、石岡小学校内にある第１保育所の今後の在り方についての質問がなされ、執行部からは、小学校の統合により現在の場所が使えなくなった際には、その時点の保育需要を注視しながら見直し等を検討していくとの答弁がありました。

▲第１保育所に新たに整備された園庭の現地調査を実施

産業建設委員会

石岡駅周辺整備事業

６月 21 日の委員会では、執行部から、石岡駅周辺整備事業の西口交流施設駐車場の整備について、これまでの委員会などでの意見を踏まえた３つの案が提示されました。駐車台数が現状の 18 台と同程度の 17 台を確保でき、共用スペースと倉庫スペースを分割した上で、３階部分をステーションパークステージ出演者の楽屋や荷物置場としても使え、倉庫スペースを最大限広く取れるものを採用したいとの説明があり、また、建築費用についても、国の補助金を使いながら、２億円から２億 5,000 万円までの範囲で建築したいとの説明がありました。

委員からは、３階建ての必要があるのか、エレベーターや扉の大きさなどについて本当に適切であるのかなどの質問のほか、本当に必要なもの、利用してもらえるものを造るべきとの意見、造った後にやり直しをすることがないよう真剣に取り組んでほしいとの意見がありました。

▲ステーションパーク脇の駐車場・駐輪場エリアに整備を予定

●発行
●発行責任者　石岡市議会　議長　菱沼　和幸
●編集　議会広報委員会

VEGETABLE OIL INK 環境にやさしい植物油インキを使用しています。

請願・陳情
～あなたの声をお寄せください～

請願・陳情

これまでに寄せられた請願・陳情の内容や審査結果、詳しい提出方法は二次元コードから

　請願とは、憲法に定められている国民の権利の１つで、国または地方公共団体の機関に対して意見や希望を述べることをいいます。
　請願の提出には議員の紹介が必要となりますが、石岡市議会では、議員の紹介がない「陳情」も含めて受付を行い、議会で審査しています。

提出時期

　請願・陳情は、議会事務局で受付をしています。
　ただし、受理後の直近の定例会で審査できるのは、原則として定例会開会日の約２週間前に開かれる議会運営委員会の２日前（土日祝日含まず）の午後３時までに提出された分です。これ以降に提出された請願・陳情は、結論が出るのは次の定例会以降となります。

書式

　請願・陳情には、特に書式等の決まりはありません。
　ただし、提出される方が個人の場合は署名と住所又は記名・押印と住所を、法人の場合は代表者の署名又は記名・押印と法人名称・所在地を記載の上、請願・陳情の要旨を簡潔に記載してください。
　請願の場合は、さらに、紹介する石岡市議会議員の署名又は記名・押印が必要です。　※右の記載例参照

【記載例】

件名
　例：○○に関する請願書（陳情書）

趣旨（本文）

令和　年　月　日
　石岡市議会議長　殿

提出者　住所
　氏名（署名又は記名・押印）
紹介議員（※請願の場合のみ）
　氏名（署名又は記名・押印）

いしおか市議会だより、デジタルブック配信中！

▲カタログポケット

▲ ibaraki ebooks

「いしおか市議会だより」は、紙媒体での配布やホームページへの掲載とあわせ、10言語翻訳や音声読み上げ機能を持つ「カタログポケット（カタポケ）」と、県内自治体の広報紙などが集約された「ibaraki ebooks（イバラキイーブックス）」でデジタルブック配信しています。スマートフォンやタブレットなどで、ぜひアクセスしてみてください！

※デジタルブック配信は、発行日からおおむね１週間以内に行っています。
※アプリ本体の利用は無料。ダウンロードや閲覧に必要な通信費は利用者負担となります。

編集後記

　いしおか市議会だより第８４号をお届けいたします。
　今年に入り、つくばエクスプレス（ＴＸ）の延伸に各自治体が力を入れているさまを、ニュースなどでご覧になった市民の方も多いことと思います。
　ＴＸ延伸に関しては、平成３０年に石岡・土浦・つくば・かすみがうら・行方・鉾田・小美玉の７市議会が団結して「ＴＸ茨城空港延伸期成同盟会」を立ち上げ、県への要望活動などを精力的に行ってきました。
　仮に石岡市を経由して延伸された場合、喫緊の課題である人口減少対策や、地域経済の発展に大きく寄与することは想像に難くありません。その一方で、建設費やその財源が明確になっていないなどの課題もあります。チェック機能としての議会の視点を常に忘れず、延伸推進の取組に当たっていきたいと思います。
　議会及び議員活動へのご意見等がございましたら、お気軽にお寄せください。（川井）

●議会広報委員会

委員長	関口　忠男	副委員長	玉造　由美
委　員	石橋　保卓	委　員	櫻井　　茂
委　員	川井　幸一	委　員	鈴木　康仁

第３回定例会の予定　９月

月　日	内　　容	場　所	中継
8月30日（火）	開会日（議案の提案理由説明など）	本会議場	○
9月　5日（月）	一般質問	本会議場	○
9月　6日（火）	一般質問	本会議場	○
9月　7日（水）	一般質問	本会議場	○
9月　8日（木）	議案質疑	本会議場	○
9月　9日（金）	文教厚生委員会	委員会室	×
9月12日（月）	総務企画委員会	委員会室	×
9月13日（火）	産業建設委員会	委員会室	×
9月14日（水）	複合文化施設建設特別委員会、議会運営委員会	全　員協議会室	×
9月15日（木）	閉会日（議案の採決など）	本会議場	○

〒315-8640　茨城県石岡市石岡一丁目１番地１
電話　0299-23-5600　メール　gikai@city.ishioka.lg.jp
ホームページ　https://www.ishioka-shigikai.jp/